

準グランプリ

アルプスアルパイン/アルパインマーケティング
BIG X 11 UPGRADE
for 30ALPHARD&VELLFIRE

特筆すべきは、現行モデルではないトヨタ自動車の上級ミニバン「アルファード/ヴェルファイア(30系)」専用にあえて開発した点だ。多くのユーザーが愛用している車両に対し、最新技術を提供することで、車両の価値を維持しながら、さらに利便性を高めている。ユーザーの多様なニーズに応えると同時に、車種専用のカスタマイズによる高いフィット感と使いやすさを実現。市販ナビとの交換が難しいとされる純正ディスプレイオーディオ車にも対応することで、ユーザーのカーナビの選択肢を広げ、販売増につなげている。



コーティング部門

プロスタッフ
「レインモンスター」シリーズ
自動車ガラス用の撥水コーティング剤シリーズ。塗り込み施工タイプ「レインモンスタースプラッシュ」「同ストロング」などをラインアップしている。販売開始以降、耐久性や施工



のしやすさなどが評価され知名度と売上を伸ばし、ヒット商品へと成長した。今春には撥水効果を高める下地処理アイテム「同リセット」もシリーズに追加。ラインアップを拡充し、高機能性を求めるユーザーニーズに応える。店頭で目に留まりやすいポップな商品デザインも魅力の1つ。

ケミカル部門

メテオAPAC
超浸透防錆潤滑剤「WD-40」。「WD-40。スペシャルストム」

メテオAPACが日本総代理店として販売する「WD-40」は、防錆・潤滑・洗浄において卓越した品質を誇る。

整備のプロフェッショナルの間で広まり、ジェット旅客機のエンジン整備、F1のメカニックなど、さまざまなシーンで活用されている。特に、2024年からは国内で未発売だった「WD-40スペシャルリスト」の取り扱いも開始し、用途に応じた選択肢がさらに広がった。その信頼性と多用途性の高さを評価した。

カーティイレック部門

スリーエムジャパン
3M™ Wrap
Film Series 2080
High Gloss

カーラッピングは、塗装をすることなく、好みの色に車を変化させることができ、剥すことで、元に戻せる点が高級車を中心に需要が増加している。また、新車の塗装を飛び石などから守り、日光による色褪せも防ぐため、愛車の資産価値を守る方法のひとつでもある。

ハイグロスは、シリーズ2080の特徴である柔軟性や再剥離性はそのままに、粘着剤の最適化及びPETライナーの採用等によって、鏡のような非常に滑らかで美しい光沢感を実現。昨年9月の発売以来、多くのユーザーから愛されている。



グランプリ マルカサービス「MTW」シリーズ

次世代モビリティ専用のホイールブランド



電気自動車(EV)をはじめとした次世代モビリティ専用のホイールブランド「MTW(マルカ・ティラード・ホイール)」に比亞迪(BYD)と日産「アリア」専用の新製品を追加し、専用幅を狭め軽量化したほか、インナーリムの厚みを工夫して静音性を高めるなど、EVの特性に合わせた設計とした。「東京オートサロン2024」でも披露し、大きな注目を集めている。MTWは2022年に立ち上げた。これまでのラインアップは、テスラ「モデル3」や「モデルY」に対応する計3種。静音性や空力性能に加え、スタイリッシュなデザインが話題を呼び、順調に売り上げを伸ばしている。今後の市場展開を見据え、次世代モビリティの新たなニーズを捉えた製品として評価した。

37th 日刊自動車新聞 大賞 用品 2024

概要と選考方法

〈対象商品〉2023年4月~24年6月の期間に発表・発売され、アフター市場で注目を集めた製品(自動車メーカーの純正品は除く)。

〈賞内容〉グランプリ・準グランプリのほか、タイヤやホイール、カーナビゲーションなど17部門と特別賞を設けた。

〈選考方法〉本紙紙面での掲載やカー用品販売店の協力のもと実施したアンケートを参考に、本紙記者らで構成する選考委員会で選定。販売数量だけでなく、商品開発のアイデアや話題性、業界貢献度、社会状況なども踏まえ、総合的に判断した。

機能用品部門

ブリッド
ERGOSTER

「エルゴスター」は、長時間の運転でも快適に過ごせるよう設計されたセミパケットシート。フラットな座面形状で優れた乗降性を保ちつつ、面で体を支えることで、横揺れや衝撃を分散し、ドライバーの疲労を軽減してくれる。また、ホールド性或コンパクト性といった点でバランスが良く、ユーザーからの評価が非常に高い。快適性と実用性を兼ね備えたエルゴスターは、多くのドライバーにとって理想的な選択肢となるはずだ。



輸入車部門

星光産業
AZUTO「ラングラー専用ウインカーエクステンション」

一般的なクルマよりも速い位置にあるジープ・ラングラーのウインカーレバーを約25%延長することで指のかかりづらさを解消したジープ・ラングラーとジープ・グラディエーター専用の「ウインカーエクステンション(MHG-0

44)」。ドライバーが運転中に意識することなく操作ができるようにし、走行中の安全性を高めた。また、延長したことでウインカーレバー操作時の重さが約20%軽減され、操作性の向上や疲労軽減にもつなげた。純正に近い仕上がり好評で、米国でも好調なセールスを続けていることなども評価した。

アイディア部門

藤壺技研工業
「SNOWKEL(スノーケル)」

積雪による一酸化炭素中毒を予防する「スノーケル」は、安全性を重視する消費者から非常に高い評価を得ている。選定理由には、その実用性が挙げられる。積雪時にマフラーの出口が塞がれることで発生する一酸化炭素中毒事故は、特に冬季に頻発しており、そのリスクを大幅に軽減する。現在は軽自動車用のみの発売だが、今後は対応車種を拡大する予定。さらに多くのユーザーがこの安全機能を楽しめるようになるだろう。



二輪車用品部門

エーモン
パープルセーバー モト

昨年10月に発売した二輪車の停止表示灯。高速道路で緊急停車した際、車体に取り付けることで後続車に存在を伝えることができる。道路交通法施行規則で定められた三角表示灯の基準を満たしている。自動車・二輪車向けに発売した「パープルセーバー」を二輪車専用設計を見直しで開発した。従来品よりも小型化しながら、夜間約800cd、昼間約300cdと同等の視認性を確保。シリコンベルト採用で、ミラーに簡単に装着できる。



アウトドア部門

セルスター工業
C5Cシリーズ「リン酸鉄リチウムイオンジャンプスターター-LJP-9600」

急なバッテリー上がりでも3000ccまでのガソリン車と2000ccまでのディーゼル車のエンジンを始動させることが可能なジャンプスターターに、モバイル給電に便利なUSB端子やハンズフリー通話に便利なBluetoothス



ピーカーを装備。夜間、暗所での作業や緊急時にも使えるLEDライト(SOS点滅機能付)も装備し、アウトドアユースにも応える。バッテリーにリン酸鉄リチウムイオンを採用することで発火の危険がない安全性の高さを担保したことなどが評価された。

防災用品部門

TCL
小型消火具「ファイヤージョーカスティック」

小型・軽量の消火具。車載用途だけでなく、自動車整備工場でも発生しうる車両火災を想定した防災用品となっている。ディーラーや整備事業者の防災・減災能力を高める常備品として提案する。特徴は大半の初期消火に対応できる点にある。消火剤には粉末ではなく、微細なカリウム粒子と窒素、水蒸気を用いる。人体や環境に無害な上、一般の消火剤では残留する粉末による二次被害も防止できることも利点の1つ。



ロングセラー部門

BBSジャパン
鍛造ホイール「LM」

鍛造アルミニウム製でありながら軽量であり、その耐久性とパフォーマンスの高さが長年にわたり愛されてきた。

モータースポーツからの技術を応用したデザインは、高速走行時の安定性を向上させるだけでなく、車両の外観にも洗練されたスポーティーさを与える。30年の間に多くの改良



が加えられ、その進化と共にユーザーのニーズに応え続けている。革新的な技術とデザインが市場で長期間にわたり評価され、多くのユーザーから支持されている。

特別賞

トムス
創業50周年記念

創業から50周年の節目を迎えた自動車業界のリーディングカンパニー「トムス」。トヨタ車向けのアフターパーツの開発



・販売において、その革新性と品質の高さが業界を牽引してきた。特に、モータースポーツにおける活躍は顕著で、同社の製品は多くのレーシングチームに支持されている。その長年にわたる功績をたたえ、今年度の「特別賞」とした。同社の存在は、自動車文化の進化とともに、常にその先端にあり続けている。